

イーストスプリング
米国小型厳選バリュー株ファンド
Aコース（為替ヘッジあり）／
Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書（全体版）」を選択

作成対象期間 2019年9月26日～2020年3月25日

第6期 2020年3月25日決算

Aコース（為替ヘッジあり） 日経新聞掲載名：米小型厳選A

第6期末	基準価額	5,744円
	純資産総額	10百万円
第6期	騰落率	-38.1%
	分配金合計	0円

Bコース（為替ヘッジなし） 日経新聞掲載名：米小型厳選B

第6期末	基準価額	6,138円
	純資産総額	435百万円
第6期	騰落率	-36.4%
	分配金合計	0円

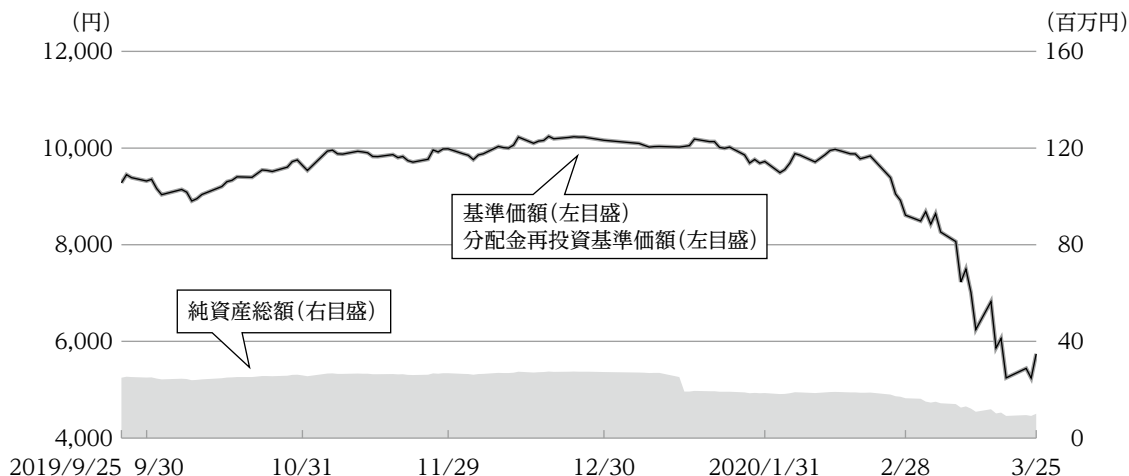
（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

Aコース（為替ヘッジあり）

基準価額等の推移について

（2019年9月26日～2020年3月25日）



第6期首	9,282円
第6期末	5,744円（既払分配金0円）
騰落率	-38.1%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・保有する米国株式が下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2019年9月26日～2020年3月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	97円	1.012%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,573円です。
(投信会社)	(47)	(0.492)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(47)	(0.492)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.054	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(5)	(0.047)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(投資信託証券)	(1)	(0.007)	
(c) その他費用	14	0.142	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.042)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(5)	(0.054)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(4)	(0.046)	信託管理事務に係る手数料
合計	116	1.208	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

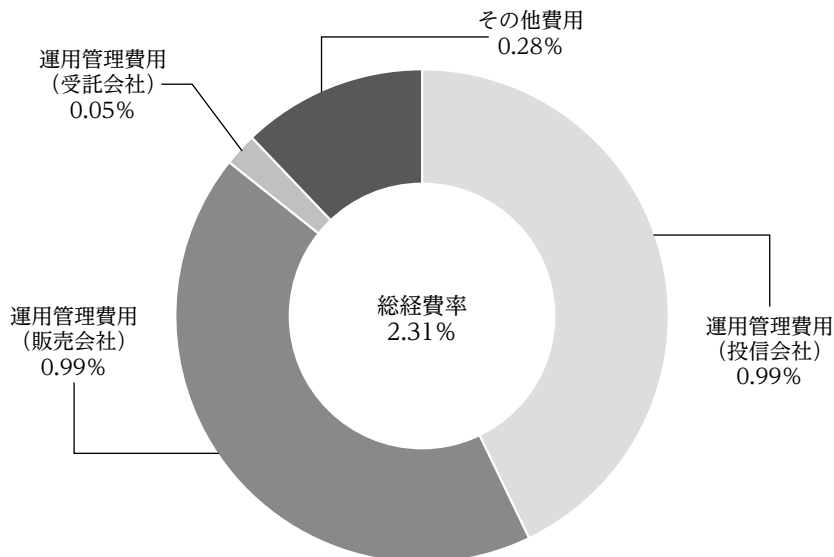
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.31%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2015年3月25日～2020年3月25日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/4/20 設定日	2018/3/26	2019/3/25	2020/3/25	—	—
基準価額	(円)	10,000	10,482	9,481	5,744	—	—
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	4.8	-9.5	-39.4	—	—
純資産総額	(百万円)	24	89	27	10	—	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

Bコース（為替ヘッジなし）

基準価額等の推移について

（2019年9月26日～2020年3月25日）



第6期首	9,644円
第6期末	6,138円（既払分配金0円）
騰落率	-36.4%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・保有する米国株式が下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2019年9月26日～2020年3月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	103円	1.012%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,180円です。
(投信会社)	(50)	(0.492)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(50)	(0.492)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.054	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(5)	(0.048)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(投資信託証券)	(1)	(0.007)	
(c) その他費用	8	0.080	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.042)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(3)	(0.034)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	117	1.146	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

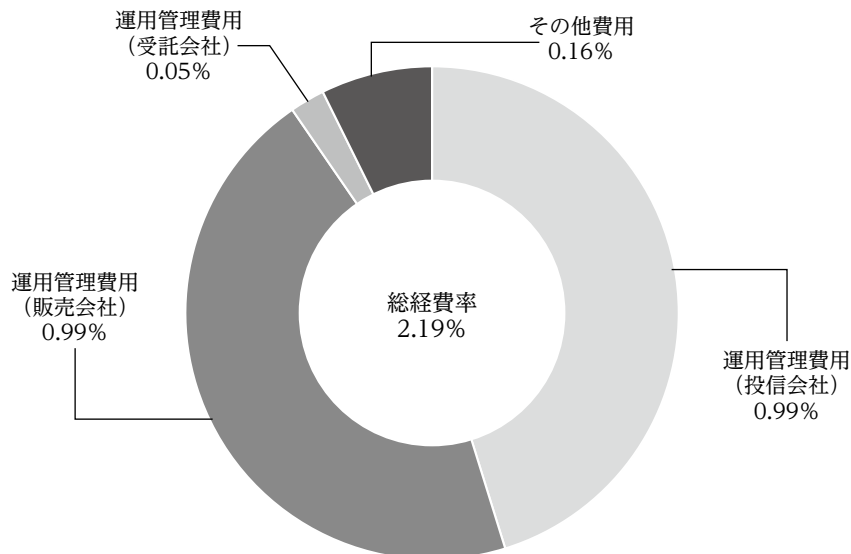
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2015年3月25日～2020年3月25日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/4/20 設定日	2018/3/26	2019/3/25	2020/3/25	—	—
基準価額	(円)	10,000	10,233	10,004	6,138	—	—
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	2.3	-2.2	-38.6	—	—
純資産総額	(百万円)	804	5,042	1,029	435	—	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

米国株式市場

当期の株式市場は下落しました。

期初の株式市場は良好な米国の経済指標や米中貿易交渉において部分合意に達したとの報道などを受けて上昇しました。2019年11月以降も米中貿易交渉進展への期待が継続したことで、株式市場は2020年1月中旬まで堅調な推移が続きしました。しかし、その後は中国で発生した新型コロナウイルスの感染状況が材料視される展開となりました。2月上旬から中旬にかけては、予想を上回るISM製造業景気指数や雇用統計など米国経済指標が市場に安心感を与える場面が見られたものの、その後は新型コロナウイルスの感染が中国以外の国・地域にも拡大したことから今後の世界経済や企業業績に対する不透明感が強まり、株式市場は大きく下落して期末を迎えました。

為替市場

当期にドルは円に対して上昇しました。

期初から2019年10月下旬にかけては米中貿易交渉進展への期待から円安ドル高となりましたが、その後は年末まで狭いレンジでの推移が続きました。2020年1月には米国とイランの対立激化を受けて乱高下する場面がありましたが、その後は再び落ち着いた動きとなりました。2月下旬から3月上旬にかけては新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて円高ドル安が進みましたが、3月中旬以降は今後の景気見通しに対する不透明感などからドル需要が高まったほか、手元に現金を確保するためのドル買いも強まり、円安ドル高が進行する展開となりました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドAコース (為替ヘッジあり)

イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行いました。なお、実質組入外貨建資産に対しては、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行いました。

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドBコース (為替ヘッジなし)

イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行いました。

イーストスプリング米国小型株式マザーファンド

主として、米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。投資にあたっては、独自の調査により個別企業の財務内容等

を分析し、小型株市場全体や過去の水準と比較して割安と判断される銘柄を選択し、ポートフォリオ構築を行いました。当期は石油精製事業を手掛けるPBF Energy、航空機部品メーカーTriumph Groupなどの保有がマイナスとなりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第6期	
	2019年9月26日 ~2020年3月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,548

Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第6期	
	2019年9月26日 ~2020年3月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,942

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドAコース（為替ヘッジあり）

イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。なお、実質組入外貨建資産に対しては、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドBコース（為替ヘッジなし）

イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。

イーストスプリング米国小型株式マザーファンド

感染が拡大している新型コロナウイルスについては、その影響が短期的なものにとどまるのか、それとも企業のサプライチェーンに長期にわたって大きな損失を与えることになるのか先行きを見極めることが重要であると考えています。運用担当者は個別企業の銘柄選択に注力しており、投資家心理の悪化によって企業のファンダメンタルズから株価が乖離して調整する局面は、優良な銘柄を組み入れる好機であると考えています。また米国では新型コロナウイルスの感染拡大に加えて4年に1度の大統領選挙を控え、候補者の政策に関する報道などから相場が大きく変動する場面も予想されます。当ファンドでは各業界内での競争力や財務内容の強みなどを把握した上で、十分に割安であると判断した銘柄に厳選して投資を行っています。今後も一貫した銘柄選定プロセスを継続して運用してまいります。

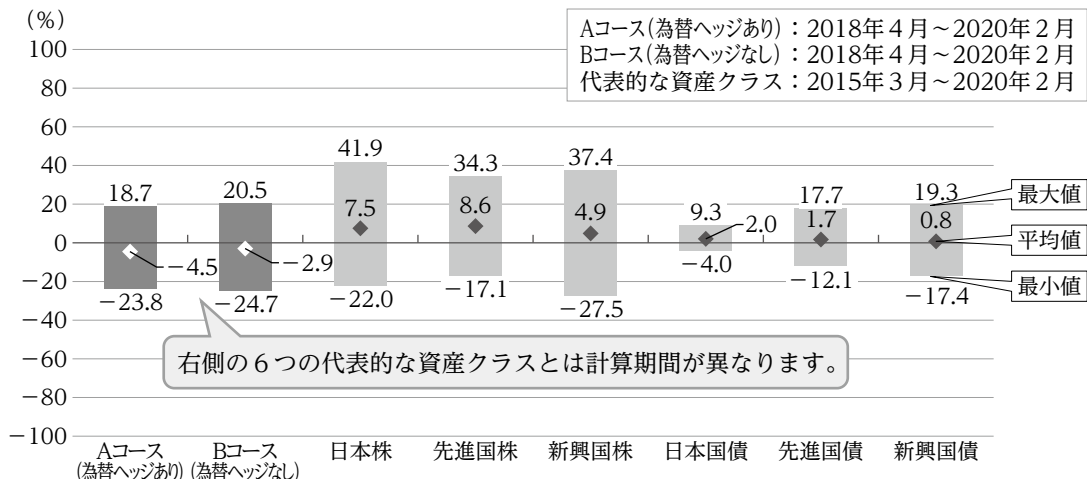
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2017年4月20日から2027年3月25日まで	
運用方針	主として米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）	イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング 米国小型株式 マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株を主要投資対象とします。
運用方法	Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング 米国小型株式 マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年3月25日および9月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI国債	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
先進国債	JPMorganGBIグローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	
新興国債	JPMorganGBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドの組入資産の内容

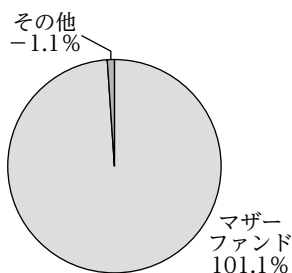
組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

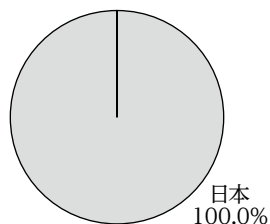
ファンド名	第6期末 2020年3月25日
イーストスプリング米国小型株式マザーファンド	101.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

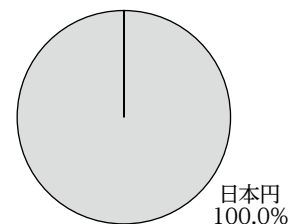
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第6期末 2020年3月25日
純資産総額	(円)	10,047,499
受益権総口数	(口)	17,492,968
1万口当たり基準価額	(円)	5,744

*当期中において追加設定元本額は66,378円、一部解約元本額は9,454,795円です。

ファンドデータ

Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドの組入資産の内容

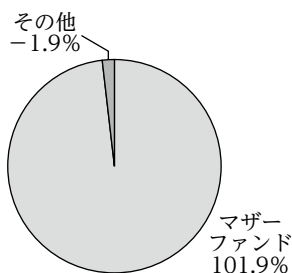
組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

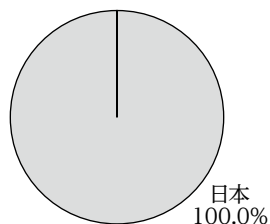
ファンド名	第6期末 2020年3月25日
イーストスプリング米国小型株マザーファンド	101.9%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

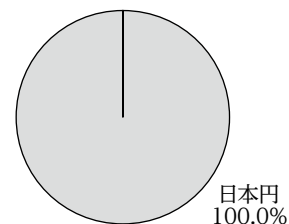
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第6期末 2020年3月25日
純資産総額	(円)	435,508,891
受益権総口数	(口)	709,524,863
1万口当たり基準価額	(円)	6,138

*当期中において追加設定元本額は15,903,889円、一部解約元本額は188,173,023円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング米国小型株式マザーファンド>

基準価額の推移(2019年9月26日～2020年3月25日)

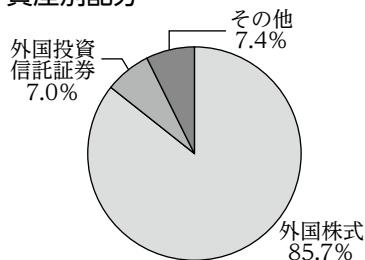


組入上位10銘柄(組入銘柄数：55銘柄)

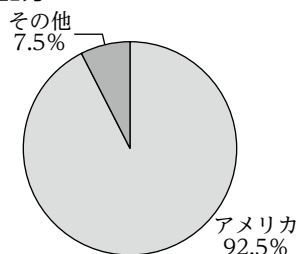
(2020年3月25日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Helen of Troy Ltd	耐久消費財・アパレル	バミューダ	2.9%
GATX Corp	資本財	アメリカ	2.8%
PNM Resources Inc	公益事業	アメリカ	2.6%
Premier Inc-Class A	ヘルスケア機器・サービス	アメリカ	2.5%
Axos Financial Inc	銀行	アメリカ	2.5%
Home BancShares Inc	銀行	アメリカ	2.5%
Houlihan Lokey Inc	各種金融	アメリカ	2.4%
Independent Bank Corp	銀行	アメリカ	2.4%
Semtech Corp	半導体・半導体製造装置	アメリカ	2.4%
Aerojet Rocketdyne Holdings	資本財	アメリカ	2.3%

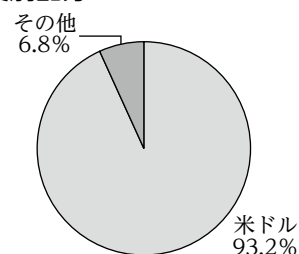
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

1 万口当たりの費用明細

(2019年9月26日～2020年3月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	6円	0.054%	(a) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、10,755円です。
(株式)	(5)	(0.047)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(1)	(0.007)	
(b) その他費用	4	0.042	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.042)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	10	0.096	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。